

栃谷戸公園

みなみのシティの一角にあり、棚田の間を流れる用水に架かる石橋や、八王子市内と奥多摩の山並みが一望にできる展望台、斜面の上の池からの眺めはすばらしい。

* 南浅川： 高尾山南麓の案内川と裏高尾の谷筋を流れる小仏川に端を発した南浅川は、JR八王子駅の西北部(元本郷町)で北浅川と合流して浅川となる

陵南公園 (開園：昭和43年)(約6万㎡)

加住丘陵と多摩丘陵に囲まれ、南浅川のほとりにある公園。東京オリンピックの際自転車競技場として使用、その後公園となる。

* 南浅川橋： 南浅川の両岸に分かれた陵南公園を結ぶ南浅川橋は、多摩御陵への参拝者を迎えるという厳粛な任務を負っている。霊地の入り口にふさわしい、厳かで清らかな姿が美しい。

武蔵陵墓地

武蔵陵墓は、昭和天皇陵が造営される以前は、多摩御陵と呼ばれていた。陵墓内には、多摩陵(たまのみささぎ)に大正天皇、多摩東陵に貞明皇后(大正天皇の後)、武蔵野陵に昭和天皇、武蔵野東陵に香淳皇后(昭和天皇の後)の4陵がある。天皇陵としては東日本に初めてつくられた。(造営に際し、法律も改訂、現在では東京及びその周辺県への陵墓建設が認可されている。) 陵墓の形態は上円下方墳。園内は約47万㎡。参道はケヤキ、陵墓内には北山杉の並木が続く。

* 廿里(とどり)： 地名の由来は、京都からの百里を中国式に十十里と書き、廿里に。鎌倉、甲府に二十里にあるから。また京の高雄山に対する砥取(とどり)の地名が八王子の高尾山に対応し持ち込まれた。また川の水がとどろいていることから。との諸説あり。